

コード	401030102
記入日	H21.6.8

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田 均
担当者	原 佳秀

作成年度	平成 21 年度
------	----------

事務事業事後評価表

評価対象事業名称	津和崎地区地域水産物供給基盤整備事業費
----------	---------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	2
事務事業コード	4010301	事務事業名称	国庫補助事業費(地域水産物供給基盤整備)	細目コード	844
関連計画			法令・条例規則等	漁港漁場整備法	

計画 (PLAN)		※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。						
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標					
(対象1) 新魚目地区漁業者			(対象指標1) 412人					
(対象2)			(対象指標2)					
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****		対象魚種のイサキやブリ類、タイなどが集まる空間をつくり出すための魚礁設置をおこなった。 魚礁設置 4基 シェルナース6.0型 (1,609空㎡)	*****	*****	*****	設置1,609空㎡÷計画1,600空㎡	*****	
			① 魚礁設置	1,609空㎡	100%		平成20年度	
			(達成率分析)	計画どおりの魚礁設置を行った。				
			②					
			(達成率分析)					
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
近年の水産業不振により漁獲高の減少が顕著であることから、魚礁を設置することによって、捕食のため滞留する空間を作り出し、対象魚種の資源増加を図ることを目的とする。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
			*****	*****	*****	対象魚種(ブリ・タイ・イサキ)漁獲量÷計画漁獲量	*****	
			① 対象魚種漁獲量	22トン	105%		平成20年度	
			(達成率分析)	計画以上の漁獲があった。				
			②					
			(達成率分析)					

実施 (DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。					
	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度
		計画	実績	実績	計画 実績
活動指標	① 空m³	1,600	1,609		1,600 1,609
	②				
成果指標	① トン	20.9	22.0		20.9 22.0
	②				
総事業費C (A+B)		千円	32,100	30,700	32,100 30,700
直接事業費A		千円	31,400	30,000	31,400 30,000
人件費B		千円	700	700	700 700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1 0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000 7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	15,700	15,000	15,700 15,000
	県補助金	千円	10,467	10,000	10,467 10,000
	起債	千円			
	その他	千円			
一般財源		千円	5,933	5,700	5,933 5,700

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	魚礁を設置することで集魚効果によりイサキやブリ類の漁獲増が図られ、関係地区の漁業振興に資することができる。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	漁獲量の減少、魚価の低迷などによって漁家経営を圧迫している状況を改善する必要がある。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	魚礁設置により小型の魚類を滞留させ、小型魚を餌とする大型のブリ類やイサキなどを蟬集させる目的としており、漁業者の要望とも一致するため適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	魚礁設置後から小型魚の滞留が見られることから、漁場としての価値が高まった。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	蟬集効果を向上させるため、魚礁の高さを従来より高くした。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	既存漁場での漁獲に頼るため、漁獲の増大につながらない。結果的に漁場が衰退する。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	入札差金により事業費を抑えられた。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	事業実施のための必要最低限の人員であり、削減はできない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	公共事業であり、直接的な受益者負担はない。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 なし
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	魚礁設置により事業は完了したが、漁協と協力しながら魚礁設置後の魚の居着きなど調査・資料収集など有効性・効果など把握に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。